



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社  
 コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若山 健彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部門長 (氏名) 三宅 哲史  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5847-2030

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,886	36.9	28		5		8	
2019年3月期第1四半期	4,570	78.7	1		29		22	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 16百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 22百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.13	
2019年3月期第1四半期	3.08	3.08

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,101	2,548	26.8
2019年3月期	9,815	2,559	25.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,440百万円 2019年3月期 2,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	8.5	190	19.9	140	27.6	100	5.5	13.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,447,914 株	2019年3月期	7,447,914 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,115 株	2019年3月期	3,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	7,444,799 株	2019年3月期1Q	7,444,888 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等により緩やかな回復が続いていますが、一方で米中貿易摩擦や中国経済の減速懸念等から、世界経済の先行きは依然として注視が必要な状況にあります。

このような状況のもと当社グループにおきましては、デジタルサイネージ関連子会社の設立や株式会社AKIBAホールディングスとの業務提携に関する基本合意を締結するなど、今後のさらなる成長に向けた取り組みを進めました。当第1四半期連結累計期間はメモリーモジュール関連事業のセグメント利益（営業利益）が前年同四半期を大きく上回る実績となったものの、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業及びシステム開発事業においては前年同四半期を下回って推移いたしました。

営業外収益としましては、日本サインホールディングス株式会社に対する持分法による投資利益15百万円を計上いたしましたが、当第1四半期連結累計期間における為替変動により、当社グループが保有する外貨建資産価値が減少したことによる為替差損44百万円を計上いたしました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,886百万円と前年同四半期と比べ1,684百万円（36.9%）の減収になりました。営業損益につきましては、営業利益28百万円と前年同四半期と比べ27百万円（前年同四半期営業利益1百万円）の大幅な増益となりました。経常損失は5百万円（前年同四半期経常利益29百万円）、法人税等を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純損失は8百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円）となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

#### ①メモリーモジュール関連

メモリーモジュール関連事業については、主要製品のDIMM（Dual Inline Memory Module）及びSSD（Solid State Drive）の主要調達部材であるDRAM、NANDともに新世代品の歩留り向上、スマートフォンの出荷量やサーバー需要の減少等により、昨年からの価格下落が続いております。足元では、米中貿易摩擦や韓国の貿易優遇対象国の見直し、並びに本年6月に発生した東芝メモリ四日市工場の停電事故等の影響によるメモリーの品薄感の高まりもあって、DRAM価格及びNAND価格の下げ止まりの動きも見られますが、本格的な需要の回復には時間がかかるものと考えられます。

これらの状況の中、当第1四半期連結累計期間においては、DIMM及びSSD以外の製品販売や国内スマートフォンメーカー向けのフラッシュ製品販売にも注力した結果、当セグメントの売上高は2,461百万円と前年同四半期と比べ1,694百万円（40.8%）の減収となったものの、セグメント利益（営業利益）は131百万円と前年同四半期と比べ42百万円（48.0%）の大幅な増益となりました。

#### ②デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連

デバイスプログラミング関連事業については、当第1四半期連結累計期間は、プログラマ本体及び変換アダプタ関連の販売が前年同四半期を上回る実績となりました。大型設備機器関連においては、第2四半期以降での車載メーカー等への納入を予定しております。また、当セグメントのROM書込みサービスにつきましては、前年同四半期とほぼ同等の実績となりましたが、新たに通信モジュール関連の受注を獲得でき、今後の売上増が期待されます。

ディスプレイソリューション関連事業については、大手ディスプレイメーカーや交通・公共機関向けの大型タッチパネルの実績は前年同四半期に比べ減少しましたが、ATM向けの受注が安定的に推移し、またインフォメーション端末向けタッチパネルの売上も堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は255百万円と前年同四半期と比べ22百万円（9.6%）の増収となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、本年4月に設立したジャパンデジタルサイネージ株式会社の立ち上げ費用の計上もあり、11百万円の損失と前年同四半期と比べ11百万円（前年同四半期0百万円の利益）の減益となりました。

③システム開発関連

システム開発事業については、従来の技術支援型（人材派遣型）案件において安定的な受注を獲得することができ、堅調に推移したものの、受託開発案件において取引先の予算縮小等の影響を大きく受け、前年同四半期を下回る実績となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は151百万円と前年同四半期と比べ22百万円（13.0%）の減収となりました。セグメント利益（営業利益）は5百万円と前年同四半期と比べ10百万円（63.2%）の減益となりました。

④その他事業

その他事業につきましては、ウェブサイトの構築等を営む日本ジョイントソリューションズ株式会社、企業の買収等の斡旋や仲介及びこれらに関するコンサルティング業務等を行うミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社に加え、LED受注販売等の環境エレクトロニクス関連事業等を展開しております。

また、新規事業として取り組んでいるインテリジェント・ステレオカメラ事業については、実証実験（PoC）を新たに数件受注するとともに、ステレオカメラを利用した養殖魚サイズ測定システムの開発が「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」に採択されるなど顧客や用途の拡大を進めており、今後、量産体制の構築を進めてまいります。

当セグメントの売上高は23百万円（前年同四半期11百万円）、インテリジェント・ステレオカメラ事業の開発費の計上もありセグメント利益（営業利益）は5百万円の損失（前年同四半期9百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.2%減少し、7,370百万円となりました。これは、現金及び預金が203百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が302百万円、原材料及び貯蔵品が247百万円、前渡金が438百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、1,728百万円となりました。これは、有形固定資産の新規投資などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて7.3%減少し、9,101百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.4%減少し、5,010百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が204百万円、その他が72百万円それぞれ増加したものの、短期借入金が824百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、1,542百万円となりました。これは、長期借入金が119百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて9.7%減少し、6,553百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、2,548百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失が8百万円であったことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想のとおりにはば推移すると思われまます。

なお、この連結業績予想に変化が生じると見込まれる場合には適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,346,316	3,549,689
受取手形及び売掛金	2,281,682	1,979,527
商品及び製品	700,339	735,743
仕掛品	70,193	95,859
原材料及び貯蔵品	982,266	734,403
前渡金	439,194	815
その他	309,517	290,000
貸倒引当金	△14,510	△15,129
流動資産合計	8,115,000	7,370,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	980,297	980,766
減価償却累計額	△854,710	△857,003
建物及び構築物(純額)	125,586	123,763
土地	635,450	635,450
その他	342,615	391,910
減価償却累計額	△125,582	△144,946
その他(純額)	217,033	246,963
有形固定資産合計	978,070	1,006,177
無形固定資産		
のれん	75,601	66,151
リース資産	11,974	10,661
その他	30,557	36,044
無形固定資産合計	118,133	112,856
投資その他の資産		
投資有価証券	106,647	104,381
関係会社株式	198,523	213,615
敷金及び保証金	237,583	237,367
破産更生債権等	41,834	41,514
繰延税金資産	31,521	29,505
その他	27,987	25,005
貸倒引当金	△41,834	△41,514
投資その他の資産合計	602,263	609,875
固定資産合計	1,698,467	1,728,909
繰延資産		
社債発行費	1,899	1,763
繰延資産合計	1,899	1,763
資産合計	9,815,367	9,101,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	746,783	951,280
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
短期借入金	4,077,262	3,252,266
1年内返済予定の長期借入金	468,658	461,918
未払金	153,007	166,282
リース債務	3,212	7,653
未払法人税等	48,471	18,501
賞与引当金	27,089	11,521
製品保証引当金	1,020	840
その他	37,502	110,462
流動負債合計	5,593,008	5,010,725
固定負債		
社債	75,000	75,000
長期借入金	1,391,406	1,272,404
リース債務	14,542	8,119
退職給付に係る負債	82,573	87,875
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	4,500	4,480
固定負債合計	1,662,450	1,542,309
負債合計	7,255,458	6,553,035
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	993,003	993,003
資本剰余金	1,384,742	1,384,742
利益剰余金	167,534	142,924
自己株式	△1,553	△1,553
株主資本合計	2,543,726	2,519,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,739	△3,654
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△2,126	△1,228
その他の包括利益累計額合計	△77,847	△78,864
新株予約権	70,603	76,699
非支配株主持分	23,426	31,598
純資産合計	2,559,908	2,548,550
負債純資産合計	9,815,367	9,101,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,570,408	2,886,099
売上原価	4,258,556	2,524,190
売上総利益	311,851	361,909
販売費及び一般管理費	310,756	333,036
営業利益	1,095	28,872
営業外収益		
受取賃貸料	2,600	4,649
為替差益	20,598	—
持分法による投資利益	10,344	15,092
その他	3,011	1,790
営業外収益合計	36,553	21,532
営業外費用		
支払利息	6,356	8,605
為替差損	—	44,340
その他	2,197	3,393
営業外費用合計	8,553	56,339
経常利益又は経常損失(△)	29,095	△5,933
特別利益		
新株予約権戻入益	3,415	—
特別利益合計	3,415	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,511	△5,933
法人税、住民税及び事業税	11,648	7,210
法人税等調整額	△2,958	2,081
法人税等合計	8,690	9,291
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,820	△15,225
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	893	△6,827
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22,926	△8,397



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,820	△15,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△1,914
為替換算調整勘定	△1,006	897
その他の包括利益合計	△1,037	△1,017
四半期包括利益	22,783	△16,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,889	△9,414
非支配株主に係る四半期包括利益	893	△6,827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソ リューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,156,656	231,238	171,448	4,559,343	11,064	4,570,408	—	4,570,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	3,197	4,697	78	4,775	△4,775	—
計	4,156,656	232,738	174,645	4,564,041	11,142	4,575,184	△4,775	4,570,408
セグメント利益又は 損失(△)	89,116	6	15,888	105,010	△9,297	95,713	△94,618	1,095

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△94,618千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソ リューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,460,980	253,541	149,210	2,863,731	22,367	2,886,099	—	2,886,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	998	1,500	2,734	5,233	803	6,036	△6,036	—
計	2,461,979	255,041	151,944	2,868,965	23,170	2,892,136	△6,036	2,886,099
セグメント利益又は 損失(△)	131,874	△11,770	5,845	125,949	△5,705	120,243	△91,370	28,872

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△91,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。